

## 協議事項(4):地域公共交通網形成計画の評価等結果について

## 1. 地域公共交通網形成計画の評価等結果について

## (1)評価の目的について

地域公共交通網形成計画の評価は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第7条の2第2項に基づき、交通計画で定め実施してきた取組の結果や成果を明らかにすることで、地域が抱える交通課題が解決できたかどうかを判断し、必要な改善策を検討するために行うものです。

## (2)評価対象期間

令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## (3)今後の流れ

令和8年1月16日までに国へ提出し、国による助言等を含めた助言が行われます。

☆令和8年2月に開かれる第三者評価委員会に出席し、評価を受けます。

## 【参考:令和7年度第1回知立市総合公共交通会議 資料】

## 報告事項(2):地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について

## 全体目標

## ■公共交通利用者数の維持・増加

(交通事業者・知立市データ)

目標とする指標		2017(H29) 【現況値】	2023(R5) 【実績値】	2024(R6) 【実績値】	実績値 増加率	2026(R8) 【目標値】
市内公共交通計		23,544人/日	21,138人/日	21,405人/日	1.3%	24,185人/日
内 訳	市内鉄道4駅	19,865人/日	18,237人/日	18,494人/日	1.4%	20,400人/日
	空港アクセスバス	32人/日	2人/日	0.6人/日	-70.0%	35人/日
	路線バス	1,477人/日	1,249人/日	1,261人/日	1.0%	1,500人/日
	ミニバス	810人/日	726人/日	757人/日	4.3%	850人/日
	高岡ふれあいバス	341人/日	289人/日	266人/日	-8.0%	350人/日
	一般タクシー	1,019人/日	635人/日	626人/日	-1.4%	1,050人/日

## 基本方針Ⅱ

## ■公共交通を利用して知立駅周辺に來訪する人数の維持・増加

(交通事業者・知立市データ)

目標とする指標	2017(H29) 【現況値】	2023(R5) 【実績値】	2024(R6) 【実績値】	実績値 増加率	2026(R8) 【目標値】
知立駅利用者数(鉄道)	16,544人/日	14,802人/日	14,601人/日	-1.4%	17,000人/日
知立駅バス停利用者数 (空港アクセスバス)	32人/日	2人/日	0.6人/日	-70.0%	35人/日
知立駅バス停利用者数 (路線バス)	1,456人/日	1,191人/日	1,200人/日	0.8%	1,500人/日
知立駅バス停利用者数 (ミニバス)	218人/日	180人/日	182人/日	1.1%	250人/日

## (4)結果について

第4回知立市総合公共交通会議で報告します。

【 余 白 】

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

知立市地域公共交通網形成計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考																																																																																							
<div>●公共交通利用者数の維持・増加</div> <div>■公共交通利用者数の維持・増加</div> <div>(交通事業者・知立市データ)</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>2017(H29) 【現況値】</th><th>2023(R5) 【実績値】</th><th>2024(R6) 【実績値】</th><th>実績値 増加率</th><th>2026(R8) 【目標値】</th></tr><tr><td>市内公共交通計</td><td>23,544人/日</td><td>21,138人/日</td><td>21,405人/日</td><td>1.3%</td><td>24,185人/日</td></tr><tr><td>市内鉄道4駅</td><td>19,865人/日</td><td>18,237人/日</td><td>18,494人/日</td><td>1.4%</td><td>20,400人/日</td></tr><tr><td>空港アクセスバス</td><td>32人/日</td><td>2人/日</td><td>0.6人/日</td><td>-70.0%</td><td>35人/日</td></tr><tr><td>路線バス</td><td>1,477人/日</td><td>1,249人/日</td><td>1,261人/日</td><td>1.0%</td><td>1,500人/日</td></tr><tr><td>ミニバス</td><td>810人/日</td><td>726人/日</td><td>757人/日</td><td>4.3%</td><td>850人/日</td></tr><tr><td>高岡ふれあいバス</td><td>341人/日</td><td>289人/日</td><td>266人/日</td><td>-8.0%</td><td>350人/日</td></tr><tr><td>一般タクシー</td><td>1,019人/日</td><td>635人/日</td><td>626人/日</td><td>-1.4%</td><td>1,050人/日</td></tr></table> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定</td><td>各事業者の有する乗降データを用いて算出</td><td>昨年度と比較すると微増ではあるが利用者の回復がみられた。通勤や通学、買物を始めとした利用が戻ってきていることが伺えるが、市内公共交通全体の増加率としては令和3年度から令和4年度が8.1%であったことに對し、令和5年度から令和6年度は1.3%と緩やかになってきている。また令和6年11月から空港アクセスバスが運休しており大幅な減少となってしまうている。</td><td>各停留所にてバスロケの利用方法の掲示を行ったり、近隣のコミュニティバスを乗り継いだモデルコースとマイ時刻表のホームページ掲載を行い利用促進に努めた。また利便性の向上の面では各種検索アプリへの運行データ掲載や、G T F S データを整備し、GoogleMap上のルート検索に対応するなど継続的に実施している。今後も各運行事業者と協力して新規利用者の獲得に努めていくとともに、知立市福祉健康まつりにて移動に制約のある方向けにバスの乗車体験を行いバス利用のに抵抗がある方の抵抗を少しでも減少させることで、利用に繋げられるよう啓発していく。</td></tr> <tr><td><div>●公共交通利用割合の向上</div><table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th></tr><tr><td>鉄道の利用割合</td><td>83.1%以上</td><td>67.4%</td><td>83.1%</td></tr><tr><td>空港アクセスバスの利用割合</td><td>14.6%以上</td><td>3.8%</td><td>14.6%</td></tr><tr><td>路線バスの利用割合</td><td>13.0%以上</td><td>11.4%</td><td>13.0%</td></tr><tr><td>ミニバスの利用割合</td><td>24.6%以上</td><td>21.2%</td><td>24.6%</td></tr></table><tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定</td><td>市民アンケート</td><td>新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr><tr><td><div>以下基本方針に関する目標値</div><div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div><div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div><table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table><div>※集計：市民アンケート</div><tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr></td></tr></td></tr>	目標とする指標	2017(H29) 【現況値】	2023(R5) 【実績値】	2024(R6) 【実績値】	実績値 増加率	2026(R8) 【目標値】	市内公共交通計	23,544人/日	21,138人/日	21,405人/日	1.3%	24,185人/日	市内鉄道4駅	19,865人/日	18,237人/日	18,494人/日	1.4%	20,400人/日	空港アクセスバス	32人/日	2人/日	0.6人/日	-70.0%	35人/日	路線バス	1,477人/日	1,249人/日	1,261人/日	1.0%	1,500人/日	ミニバス	810人/日	726人/日	757人/日	4.3%	850人/日	高岡ふれあいバス	341人/日	289人/日	266人/日	-8.0%	350人/日	一般タクシー	1,019人/日	635人/日	626人/日	-1.4%	1,050人/日	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	各事業者の有する乗降データを用いて算出	昨年度と比較すると微増ではあるが利用者の回復がみられた。通勤や通学、買物を始めとした利用が戻ってきていることが伺えるが、市内公共交通全体の増加率としては令和3年度から令和4年度が8.1%であったことに對し、令和5年度から令和6年度は1.3%と緩やかになってきている。また令和6年11月から空港アクセスバスが運休しており大幅な減少となってしまうている。	各停留所にてバスロケの利用方法の掲示を行ったり、近隣のコミュニティバスを乗り継いだモデルコースとマイ時刻表のホームページ掲載を行い利用促進に努めた。また利便性の向上の面では各種検索アプリへの運行データ掲載や、G T F S データを整備し、GoogleMap上のルート検索に対応するなど継続的に実施している。今後も各運行事業者と協力して新規利用者の獲得に努めていくとともに、知立市福祉健康まつりにて移動に制約のある方向けにバスの乗車体験を行いバス利用のに抵抗がある方の抵抗を少しでも減少させることで、利用に繋げられるよう啓発していく。	<div>●公共交通利用割合の向上</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th></tr><tr><td>鉄道の利用割合</td><td>83.1%以上</td><td>67.4%</td><td>83.1%</td></tr><tr><td>空港アクセスバスの利用割合</td><td>14.6%以上</td><td>3.8%</td><td>14.6%</td></tr><tr><td>路線バスの利用割合</td><td>13.0%以上</td><td>11.4%</td><td>13.0%</td></tr><tr><td>ミニバスの利用割合</td><td>24.6%以上</td><td>21.2%</td><td>24.6%</td></tr></table> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定</td><td>市民アンケート</td><td>新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr> <tr><td><div>以下基本方針に関する目標値</div><div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div><div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div><table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table><div>※集計：市民アンケート</div><tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr></td></tr>	目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	鉄道の利用割合	83.1%以上	67.4%	83.1%	空港アクセスバスの利用割合	14.6%以上	3.8%	14.6%	路線バスの利用割合	13.0%以上	11.4%	13.0%	ミニバスの利用割合	24.6%以上	21.2%	24.6%	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	市民アンケート	新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。	<div>以下基本方針に関する目標値</div> <div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div> <div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table> <div>※集計：市民アンケート</div> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr>	目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	評価	公共交通総合満足度 (満足+やや満足)	26.1%以上	26.9%	26.1%	○	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保	市民アンケート	中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。
目標とする指標	2017(H29) 【現況値】	2023(R5) 【実績値】	2024(R6) 【実績値】	実績値 増加率	2026(R8) 【目標値】																																																																																							
市内公共交通計	23,544人/日	21,138人/日	21,405人/日	1.3%	24,185人/日																																																																																							
市内鉄道4駅	19,865人/日	18,237人/日	18,494人/日	1.4%	20,400人/日																																																																																							
空港アクセスバス	32人/日	2人/日	0.6人/日	-70.0%	35人/日																																																																																							
路線バス	1,477人/日	1,249人/日	1,261人/日	1.0%	1,500人/日																																																																																							
ミニバス	810人/日	726人/日	757人/日	4.3%	850人/日																																																																																							
高岡ふれあいバス	341人/日	289人/日	266人/日	-8.0%	350人/日																																																																																							
一般タクシー	1,019人/日	635人/日	626人/日	-1.4%	1,050人/日																																																																																							
●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	各事業者の有する乗降データを用いて算出	昨年度と比較すると微増ではあるが利用者の回復がみられた。通勤や通学、買物を始めとした利用が戻ってきていることが伺えるが、市内公共交通全体の増加率としては令和3年度から令和4年度が8.1%であったことに對し、令和5年度から令和6年度は1.3%と緩やかになってきている。また令和6年11月から空港アクセスバスが運休しており大幅な減少となってしまうている。	各停留所にてバスロケの利用方法の掲示を行ったり、近隣のコミュニティバスを乗り継いだモデルコースとマイ時刻表のホームページ掲載を行い利用促進に努めた。また利便性の向上の面では各種検索アプリへの運行データ掲載や、G T F S データを整備し、GoogleMap上のルート検索に対応するなど継続的に実施している。今後も各運行事業者と協力して新規利用者の獲得に努めていくとともに、知立市福祉健康まつりにて移動に制約のある方向けにバスの乗車体験を行いバス利用のに抵抗がある方の抵抗を少しでも減少させることで、利用に繋げられるよう啓発していく。																																																																																									
<div>●公共交通利用割合の向上</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th></tr><tr><td>鉄道の利用割合</td><td>83.1%以上</td><td>67.4%</td><td>83.1%</td></tr><tr><td>空港アクセスバスの利用割合</td><td>14.6%以上</td><td>3.8%</td><td>14.6%</td></tr><tr><td>路線バスの利用割合</td><td>13.0%以上</td><td>11.4%</td><td>13.0%</td></tr><tr><td>ミニバスの利用割合</td><td>24.6%以上</td><td>21.2%</td><td>24.6%</td></tr></table> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定</td><td>市民アンケート</td><td>新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr> <tr><td><div>以下基本方針に関する目標値</div><div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div><div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div><table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table><div>※集計：市民アンケート</div><tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr></td></tr>	目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	鉄道の利用割合	83.1%以上	67.4%	83.1%	空港アクセスバスの利用割合	14.6%以上	3.8%	14.6%	路線バスの利用割合	13.0%以上	11.4%	13.0%	ミニバスの利用割合	24.6%以上	21.2%	24.6%	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	市民アンケート	新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。	<div>以下基本方針に関する目標値</div> <div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div> <div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table> <div>※集計：市民アンケート</div> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr>	目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	評価	公共交通総合満足度 (満足+やや満足)	26.1%以上	26.9%	26.1%	○	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保	市民アンケート	中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。																																																					
目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】																																																																																									
鉄道の利用割合	83.1%以上	67.4%	83.1%																																																																																									
空港アクセスバスの利用割合	14.6%以上	3.8%	14.6%																																																																																									
路線バスの利用割合	13.0%以上	11.4%	13.0%																																																																																									
ミニバスの利用割合	24.6%以上	21.2%	24.6%																																																																																									
●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●近隣市町コミュニティバスとの連携 ●交通結節点での乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	市民アンケート	新型コロナウイルス感染症の影響等により令和2年度に利用者が大幅に減少したため、各公共交通利用者の割合も減少した。路線バス・ミニバスにおいては利用頻度の高い利用者の割合は大きな減少はしておらず、「年に数回」という比較的低頻度の利用者の割合が減少した。令和4年度はどの公共交通の利用者も横ばいまたは増加している。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の利用割合を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。																																																																																									
<div>以下基本方針に関する目標値</div> <div>基本方針Ⅰ 現行サービスの確保・維持を基本としつつ、安全で利用しやすい公共交通サービスを充実</div> <div>公共交通の総合満足度は下表のとおりで、年代別の満足度を下図にまとめました。</div> <table><tr><th>目標とする指標</th><th>目標値【2026】</th><th>中間評価時の 現況値【2022】</th><th>策定当時の 現況値【2016】</th><th>評価</th></tr><tr><td>公共交通総合満足度 (満足+やや満足)</td><td>26.1%以上</td><td>26.9%</td><td>26.1%</td><td>○</td></tr></table> <div>※集計：市民アンケート</div> <tr><td>●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保</td><td>市民アンケート</td><td>中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。</td><td>令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。</td></tr>	目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	評価	公共交通総合満足度 (満足+やや満足)	26.1%以上	26.9%	26.1%	○	●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保	市民アンケート	中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。																																																																														
目標とする指標	目標値【2026】	中間評価時の 現況値【2022】	策定当時の 現況値【2016】	評価																																																																																								
公共交通総合満足度 (満足+やや満足)	26.1%以上	26.9%	26.1%	○																																																																																								
●各運行事業者と連携・協働 ●乗継情報の提供やホームページ・市広報の拡充 ●待合環境などの整備 ●商業施設、医療施設、観光レクリエーション施設等へのアクセスの利便性の確保	市民アンケート	中間評価時点での満足度は26.9%となり、総合満足度は計画策定時から0.8ポイント上昇した。50～60歳代の満足度が全体よりも低くなっている一方で、40歳代以下や75歳以上の満足度は高くなっている。	令和8年度に現交通網形成計画の計画期間が満了となることから、次期計画策定のため市民アンケート調査を始めとした基礎調査を実施する。調査結果から公共交通の満足度を把握し、課題解決に向けた計画策定を行う。																																																																																									